

姫路市史 第八巻

史料編 古代中世 1

監修 神戸大学名誉教授
八木 哲 浩



合戦の山陰 太平記絵巻 三時知恩寺蔵

第十五回配本『姫路市史』第八巻史料編Ⅰ古代中世をお届けします。

本巻は編年の形をとり歴史上のできごとを綱文に著し、その基となった史料をつけるという形にしています。古代中世をこういう形で著したことは姫路市史では初めてのことで、昭和四十九年に旧姫路市史「史料編Ⅰ」が刊行されてから播磨の古代中世の解明が急速に進みましたが、ここでひとつの集大成ができたといえるでしょう。

第一章は古代編年とし、記紀の時代から播磨国が出てくる文献史料を採り上げました。必ずしも今の姫路市域とは限りませんが全体を通してみれば播磨国の雰囲気や立場などがわかるでしょう。平安、特に摂関時代では書写山円教寺の繁栄ぶりが際立っています。またおもしろいところでは飾西郡実報寺の僧、戒覚が永保十二年（一〇八二）に宋に密航したときの記録などもあります。

第二章は中世編年として梶原景時が播磨国守護を任命される寿永三年（一二八四）を鎌倉時代として始めました。守護と官人のせめぎあい、悪党の蜂起、御家人広峯氏の活躍などを収めています。南北朝・室町時代には足利尊氏に属した赤松氏の活躍と繁栄、嘉吉の乱にいたる様々な動き、乱の詳細な記録、赤松氏の再興などが主なテーマですが、林田庄関係の吉続記紙背文書や正長の土一揆に関連した勧修寺経成書状など今回の調査で初めて発見された文書も掲載しています。戦国時代は応仁元年からです。細川氏を後ろ盾にした赤松政則から始まる後期赤松氏の活躍、群雄割拠の時代の浦上・小寺・赤松・別所氏などが入り乱れて東西取り合い合戦など、当時の人々の心意気が豊富な史料の間から見えてきます。そして最後は織豊時代として御着城・英賀城の陥落までを黒田孝隆の動きを中心として逐一追ってゆきました。江戸時代に九州福岡の黒田官兵衛の許に身を寄せた小寺氏の子孫の方が持つておられた小寺家文書も初めて世に出ます。この時代の史料を順序だててまとめたのは姫路市としては初めてのことで、

第三章には古代別編として播磨国風土記・万葉集をはじめ文芸などの世界に残っている播磨の記録を幅広く集めました。古代から播磨の庶民が生産にはげみ日々の生活をどのように送っていたのかが垣間見えるところです。

つづく第九巻では史料編Ⅱ中世として姫路に残る中世文書を家分けにして一括し、庄園別史料や中世の文芸などを掲載する予定です。



赤松円心



織田信長



小寺(黒田)職隆



豊臣秀吉



芥田五郎右衛門



足利義政



小寺則職



片桐且元



黒田如水



赤松政則



木下家定



浦上村宗

購読申込みに ついて

- ・書名 姫路市史第八巻 史料編 古代中世1
- ・本の体裁 A5判 上製本 中性高質紙使用 装丁用織物表紙 貼函入
- ・頒価 五、〇〇〇円 送料五〇〇円(1部につき)
- ・頒布方法 史料整理担当、又は、市政情報センター(市役所一階)でお求め下さい。
- ・申込先 城内図書館 史料整理担当

〒六七〇〇〇二二 姫路市本町六八二五八(日本城郭研究センター)
電話(〇七九二) 八九一四八八六 FAX(〇七九二) 八九一四八九一

既刊案内

- ◎ 第一回配本(昭和六十一年)
◎ 姫路市史第十巻 史料編 近世1 A5判 九一八頁 頒価 六、三〇〇円
 - ◎ 第二回配本(昭和六十三年)
◎ 姫路市史第十四巻 別編 姫路城 A5判 九一三頁 頒価 五、五〇〇円
 - ◎ 第三回配本(平成元年)
◎ 姫路市史第十二巻 史料編 近現代1 A5判 八四四頁 頒価 六、二〇〇円
 - ◎ 第四回配本(平成四年)
◎ 姫路市史第三巻 本編 近世1 A5判 五八六頁 頒価 五、四〇〇円
 - ◎ 第五回配本(平成四年)
◎ 姫路市史第十五巻 上 別編 民俗編 A5判 七七九頁 頒価 五、三〇〇円
 - ◎ 第六回配本(平成六年)
◎ 姫路市史第十三巻 上 史料編 近現代2 A5判 九五六頁 頒価 六、五〇〇円
 - ◎ 第七回配本(平成七年)
◎ 姫路市史第十五巻 中 別編 文化財編1 A5判 五五三頁 頒価 三、五〇〇円
 - ◎ 第八回配本(平成八年)
◎ 姫路市史第十一巻 上 史料編 近世2 A5判 八七五頁 頒価 六、四〇〇円
 - ◎ 第九回配本(平成十年)
◎ 姫路市史第七巻 上 資料編 自然 A5判 四四五頁 頒価 五、六〇〇円
 - ◎ 第十回配本(平成十一年)
◎ 姫路市史第十一巻 下 史料編 近世3 A5判 九三一頁 頒価 五、七〇〇円
 - ◎ 第十一回配本(平成十一年)
◎ 姫路市史第十五巻 下 別編 文化財編2 A5判 八〇六頁 頒価 五、三〇〇円
 - ◎ 第十二回配本(平成十二年)
◎ 姫路市史第五巻 上 本編 近現代1 A5判 八〇七頁 頒価 五、〇〇〇円
 - ◎ 第十三回配本(平成十三年)
◎ 姫路市史第一巻 上 本編 自然 A5判 五九四頁 頒価 五、〇〇〇円
 - ◎ 第十四回配本(平成十四年)
◎ 姫路市史第五巻 下 本編 近現代2 A5判 八二六頁 頒価 五、〇〇〇円
- (送料 各巻共 五〇〇円)

発刊当時のチラシにつき表示されていない巻もありますが、姫路市史は全巻(16巻23冊)発刊済です。